警　防

救助訓練にて要救助者をピックアップしている消防ヘリコプター「カワセミ」

事　業　概　要

火災などの災害をはじめ、年々激甚化する豪雨災害などから住民の生命や財産を保護するとともに、被害の軽減を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

また、住民ニーズの多様化や消防を取り巻く環境の変化に対応するため、山岳救助隊、水難救助隊、高度救助隊、特別高度救助隊などの専門部隊をはじめ、水上オートバイや災害用ドローンを配備し災害対応力の向上を図るとともに、消防ヘリコプター「カワセミ」の高速性と機動性を最大限に活かして、南アルプスまでの広大な地域を網羅し、ヘリコプターテレビ電送システムを活用した迅速な被害状況の把握や上空からの効果的な救助活動などを行っています。

署別消防活動状況

			総数			葵			駿河			千代田		
			件数	出動隊数	出動人員	管内受持件数	出動隊数	出動人員	管内受持件数	出動隊数	出動人員	管内受持件数	出動隊数	出動人員
火災		その他・特命出動	13	66	191							2	8	21
		第１出動	160	968	3,080	22	158	524	23	134	452	22	156	442
		第２出動	15	222	766	4	56	192	3	42	148	1	37	123
		第３出動	1	22	75	1	8	26		7	23		6	22
		第４出動												
		上記のうち林野火災	5	43	127								1	2
その他		誤報、号外等	61	396	1,314	13	96	332	13	90	316	6	64	203
救助		救助出動	456	1,746	5,958	51	269	918	106	380	1353	91	339	1191
その他災害	偵察	自動火災報知機鳴動	569	668	2,317	168	202	706	150	156	591	59	63	228
		怪煙（炎）	67	189	611	7	22	66	17	44	149	3	9	32
		その他	25	61	208	5	12	39	8	21	72	4	8	30
	警戒	ガス漏れ	16	108	354	5	38	136	4	23	74	2	19	46
		危険物等	56	267	910	5	41	146	12	44	165	7	45	149
		その他	1	11	38					4	14		2	5
	PA連携		3,809	3,819	13,468	807	758	2,703	797	836	2,995	475	510	1,877
	危険排除		656	1,315	4,258	77	180	596	108	220	730	80	202	677
	風水害		3	8	32				1	3	11	2	5	21
	捜索		7	29	97				2	7	21	2	11	46
演習・訓練等	火災調査		191	191	656	27	27	96	11	11	38	41	41	143
	演習訓練		3,507	3,507	13,098	903	903	3,292	555	555	2,133	582	582	2,148
	広報・訓練指導		820	820	2,943	133	133	489	42	42	147	120	120	454
	警防調査		933	933	4,062	188	188	653	73	73	249	186	186	646
	特別警戒		19	19	63	4	4	14	2	2	8			
	予防査察		564	564	2,000	128	128	462	56	56	194	88	88	316
	その他		5,346	5,346	18,825	1,189	1,189	4,153	729	729	2,571	1,375	1,375	4,985

（令和５年１月１日～令和５年12月31日）

清水			港北			日本平			島田			吉田			牧之原		
管内受持件数	出動隊数	出動人員	管内受持件数	出動隊数	出動人員	管内受持件数	出動隊数	出動人員	管内受持件数	出動隊数	出動人員	管内受持件数	出動隊数	出動人員	管内受持件数	出動隊数	出動人員
1	2	7							1	10	30	3	21	58	6	25	75
11	131	444	18	94	284	16	57	213	28	148	454	11	62	182	9	28	85
3	39	136	3	33	108	1	15	59									
	1	4															
	14	44	2	11	28	1	5	16		3	9	1	6	18	1	3	10
2	34	108	6	22	72	6	22	79	10	47	141	4	18	53	1	3	10
54	238	866	38	158	526	20	28	101	47	162	495	32	126	361	17	46	147
57	67	248	20	23	76	20	20	75	51	61	191	31	63	163	13	13	39
9	27	94	8	20	65	4	11	39	11	31	96	4	15	41	4	10	29
5	12	41				1	3	11	1	2	6	1	3	9			
1	11	41	1	6	20	2	6	22		1	3	1	4	12			
4	29	106	4	17	57	3	10	34	4	21	69	6	39	113	11	21	71
1	4	15					1	4									
494	446	1,682	336	358	1,191	227	239	877	375	371	1,191	183	185	576	115	116	376
86	195	672	76	159	496	32	31	118	112	192	592	59	110	292	26	26	85
									3	11	30						
33	33	117	15	15	48	24	24	90	11	11	33	10	10	26	11	11	39
434	434	1,382	338	338	1,203	321	321	1,233	167	167	570	30	30	84	103	103	493
76	76	296	40	40	141	50	50	194	37	37	98	17	17	52	38	38	135
69	69	254	116	116	374	68	68	261	62	62	184	24	24	68	91	91	302
3	3	10	2	2	4	1	1	5	2	2	6	1	1	3	2	2	7
83	83	325	50	50	169	37	37	137	23	23	83	35	35	120	44	44	136
623	623	2,407	508	508	1,660	357	357	1,313	269	269	740	83	83	218	181	181	560

山　岳　救　助　隊

静岡市消防局山岳救助隊は、安全登山の一翼を担うべく、南アルプスや安倍奥等での捜索・救助活動のほか、各種訓練等積極的な活動を行っています。

山岳救助隊員の配置状況

（令和６年４月１日現在）

	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
千代田消防署 しずはた出張所 （山岳救助隊）	日勤	1					1
	第１部	1	2	2		1	6
	第２部	1	2	2		1	6
	第３部	1	2	3			6
計		4	6	7		2	19

山岳救助活動状況

（令和５年度）

	発生月	区分	内　容	場　所	救助者等	出動隊員数	山岳救助隊員数（内数）
1	４月	救助	転倒し頭部を負傷。	島田市阿知ケ谷 白岩寺ハイキングコース	１人	14人	
2	４月	救助	登山道下山中、転倒し歩行不可。	静岡市駿河区丸子地内 満観峰登山道	１人	24人	４人
3	５月	救助	登山中、脱水症状により動けなくなった。	静岡市葵区平山地内 竜爪山	１人	23人	４人
4	５月	救助	登山中、左下肢痛発症。警察から応援要請。	静岡市葵区田代地内 赤石岳避難小屋	１人	10人	５人
5	５月	救助	崖約５ｍ飛び降り負傷、歩行不可。	静岡市駿河区根古屋地内 山中	１人	28人	４人
6	５月	救助	下山できない不安から救助要請。不搬送。	川根本町犬間地内 尾栗峠	１人	42人	７人
7	５月	救助	登山中、気分不快により救助要請。	静岡市葵区有東木地内 十枚山地蔵峠	１人	23人	４人
8	６月	救助	行動不能であったが、体調回復し自力下山。	静岡市葵区田代地内 蝙蝠岳		５人	５人
9	７月	救助	登山中、転倒し歩行不可。	静岡市葵区田代地内 赤石小屋		８人	５人
10	７月	救助	登山道下山中、体調不良により歩行不可。	静岡市葵区田代地内 千枚小屋登山道	１人	11人	５人
11	７月	救助	体調不良により救助要請するも搬送辞退。	静岡市葵区田代地内 荒川小屋	１人	８人	５人
12	７月	救助	崖約１ｍ転落し歩行不可。	静岡市葵区田代地内 中俣	１人	７人	７人
13	７月	救助	登山道上にて、体調不良により歩行不可。	静岡市葵区田代地内 千枚小屋登山道	１人	16人	５人
14	８月	救助	発熱により救急要請。	静岡市葵区田代地内 熊の平小屋	１人	16人	５人
15	８月	救助	斜面滑落し腰部負傷。	島田市川根町笹間上地内 山中	１人	21人	
16	８月	救助	登山中、体調不良により歩行不可。	静岡市葵区田代地内 塩見岳	１人	７人	
17	９月	救助	山中に入り遭難した。	静岡市葵区梅ヶ島地内 山中	１人	14人	４人
18	９月	救助	体調不良により救助要請するも搬送辞退。	静岡市葵区田代地内 高山裏避難小屋～前岳間登山道		５人	５人
19	９月	救助	体調不良により救助要請。	静岡市葵区田代地内 赤石小屋	１人	５人	５人
20	９月	救助	遭難により警察から応援要請。	静岡市葵区田代地内 笊ヶ岳山中		５人	５人
21	10月	救助	蜂に刺され救助要請するも、自力下山。	島田市高熊地内 八高山大垂滝付近	１人	９人	
22	10月	救助	登山中、腰痛により救助要請。	静岡市葵区田代地内 山中	１人	11人	11人
23	１月	救助	要救助者が斜面に倒れており、救助要請。	静岡市葵区梅ヶ島地内 山中		18人	４人
24	２月	救助	ハイキングコースから滑落し救助要請。	静岡市葵区鳥坂地内 梶原山	１人	17人	
25	２月	救助	行方不明者を山中にて発見し通報。	島田市身成地内 山中	１人	13人	
26	３月	救助	登山中、転倒し足部を負傷。	静岡市葵区梅ヶ島地内 山伏山中	１人	26人	４人
27	３月	救助	山中で脱力、歩行不可。	静岡市葵区長妻田地内山中	１人	27人	４人
28	３月	救助	ハイキング中、転倒し救助要請。	静岡市駿河区丸子地内 山中農道		13人	

水　難　救　助　隊

静岡市消防局水難救助隊は、海、河川、湖など水辺での事故や災害に対応すべく、春夏秋冬を問わず年間を通して潜水訓練・救助訓練のほか地上消防隊との連携訓練等、各種水難訓練を積極的に実施しています。

水難救助隊員の配置状況

（令和６年４月１日現在）

	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
駿河消防署 用宗出張所 （水難救助隊）	第１部	1	1	3		1	6
	第２部	1	1	3		1	6
日本平消防署 （水難救助隊）	第１部	1	2	4			7
	第２部	1	2	4			7
計		4	6	14		2	26

水難救助活動状況

（令和５年度）

	発生月	区分	内　容	場　所	救助者等	出動隊員数	水難救助隊員数（内数）
1	４月	救助	堤防からテトラポット内へ転落。自力脱出。	静岡市駿河区用宗二丁目号地先 堤防		34人	３人
2	６月	救助	川遊びを見誤り、通報。	静岡市葵区内牧地先 内牧川		29人	４人
3	６月	救助	海岸から海へ転落したもの。	静岡市清水区蒲原地内 海岸		26人	３人
4	６月	救助	軽自動車が海へ転落したもの。	静岡市駿河区広野五丁目地先 用宗外港	１人	27人	３人
5	７月	救助	ラフティング中に中州に取り残され救助要請。	富士宮市内房地内 富士川中洲		５人	
6	７月	救助	水面に墜落したと見誤り救助要請。	静岡市駿河区中島地先 安倍川左岸河口付近		25人	４人
7	７月	救助	河川内に乗用車が水没していたもの。	静岡市清水区蒲原地内 富士川右岸側河川内		16人	３人
8	７月	救助	サップ中、沖に流されたと思い救助要請。	牧之原市須々木地先		12人	
9	７月	救助	遊泳中に流され、救助要請したもの。	川根本町地名地内 大井川		18人	
10	８月	救助	サーファーが沖に流され救助要請。	牧之原市静波地内 静波海水浴場		23人	
11	８月	救助	岸壁から約５ｍに要救助者が浮いていたもの。	静岡市清水区袖師町地先 清水港袖師船留		21人	４人
12	９月	救助	遊泳中の男女が沖に流され救助要請。	牧之原市静波地内 静波海水浴場	２人	21人	
13	９月	救助	溺れている人を発見し通報したもの。	静岡市駿河区西島地先 海岸		20人	３人
14	10月	救助	中州に人が倒れており救助要請。	島田市中河地先 大井川河川内		23人	
15	10月	救助	高波にさらわれ海へ転落したもの。	静岡市清水区由比西倉澤地内 西倉澤漁港	１人	24人	３人
16	10月	救助	入水した人を見たとの通報。	静岡市清水区入船町地先 海岸		27人	５人
17	10月	救助	河川水面に男性１名が浮いていたもの。	川根本町奥泉地先 大井川河川内		20人	
18	11月	救助	水上バイクの運転者が見当たらず救助要請。	静岡市駿河区石部地先 海岸		26人	４人
19	１月	救助	停泊中のタンカーの船員が誤って海に転落。	静岡市清水区袖師町地内 江尻埠頭江尻18号岸壁		23人	４人
20	２月	救助	帰宅途中、巴川へ誤って転落したもの。	静岡市清水区渋川一丁目地内 巴川	１人	23人	４人
21	３月	救助	橋から30代女性が飛び降りた。志太消防管内。	焼津市飯淵地先 太平橋東側大井川左岸側		12人	
22	３月	救助	河川内に男性が沈んでいたもの。	島田市御仮屋町地先 河川	１人	17人	１人
23	３月	救助	波打ち際に打ち上げられていたもの。	牧之原市須々木地先 海岸		12人	
24	３月	救助	堤防から滑り落ち、巴川に転落したもの。	静岡市清水区高橋六丁目地内 巴川左岸	１人	21人	３人
25	３月	救助	自ら河口へ飛び込んだもの。	静岡市駿河区用宗二丁目地内 小坂川河口	１人	21人	４人
26	３月	救助	波打ち際に打ち上げられていたもの。	牧之原市須々木地先 海岸	１人	11人	３人
27	３月	救助	歩行中に誤って海に転落したもの。	静岡市駿河区用宗二丁目地先 用宗漁港内港	１人	22人	３人

特別高度救助隊
愛称：静岡・スーパー・レスキュー「SSR」

複雑多様化する特殊災害や南海トラフ地震等の大規模災害に対する救助体制の充実強化を図るため、創設された救助専門部隊です。専門的かつ高度な知識と技術を有する隊員で編成し、更に高度救助資機材（二酸化炭素探査装置、画像探索機、地中音響探知機、地震警報器、電磁波探査装置、水中探査装置）を装備し、管轄内の災害だけでなく広域的な緊急消防援助隊として応援出動する部隊です。近年では、平成23年３月の東日本大震災、平成25年10月の台風26号による東京都大島町の土砂災害、平成26年９月の御嶽山噴火災害、令和６年１月の石川県能登半島地震での活動実績があります。また、令和３年７月に発生した熱海市伊豆山土石流災害に、静岡県消防相互応援協定に基づき派遣されています。

特別高度救助隊員の配置状況

（令和６年４月１日現在）

所　属	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
駿河消防署	第１部	1	2	4			7
	第２部	1	2	4			7
	第３部	1	2	4			7
計		3	6	12			21

特別高度救助隊活動状況（特殊車両）

（令和５年度）

	発生月	区分	内　容	場　所	特殊車両
1	６月	救助	軽自動車が海に転落したもの。	静岡市駿河区広野五丁目 用宗外港	第２特殊災害対応車
2	７月	警戒	専用住宅２階から異臭が発生したもの。	静岡市清水区入江二丁目	第１特殊災害対応車
3	９月	救助	海岸のテトラポット付近にて溺者が発生したもの。	静岡市駿河区西島 1227番地の10地先　海岸	第２特殊災害対応車
4	12月	警戒	練炭による自損行為にともなう出動。	静岡市駿河区高松	第１特殊災害対応車
5	12月	警戒	高速道路上にて普通乗用車の単独事故が発生したもの。	静岡市清水区谷津地内 新東名高速道路　下り線	救助支援隊
6	１月	救助	石川県能登半島地震	石川県珠洲市	第２特殊災害対応車
7	１月	火災	地下街の店舗内にて、携帯電話が焼損したもの。	静岡市葵区紺屋町 地下街	救助支援隊
8	２月	火災	高速道路トンネル内にて、キャリアカーが全焼したもの。	静岡市葵区北沼上地内 新東名高速道路　下り線	救助支援隊

特別高度救助隊訓練状況

（令和５年度）

	月日	区分	内　容	場　所
1	5月8日～30日	訓練	暑熱順化訓練	駿河消防署
2	5月9日～18日	訓練	操縦技術効果確認訓練	駿河消防署
3	6月23日	訓練	静岡県警機動隊合同訓練（救助部隊）	静岡県警察本部機動隊訓練場
4	7月7日	訓練	３機関合同水難救助訓練（海上）	用宗海岸
5	7月20日	訓練	交通救助訓練	駿河消防署
6	9月9日～10月1日	訓練	ＮＢＣ災害即応部隊強化訓練	駿河消防署
7	9月20日	訓練	静岡県警機動隊合同訓練（ＮＢＣ部隊）	静岡県警察本部機動隊訓練場
8	10月16日	訓練	静岡県消防学校専科教育救助科教育支援（ショアリング）	静岡県消防学校
9	10月21日	訓練	消防団との合同訓練（林野火災）	舞台演劇公園敷地内
10	10月25日	訓練	静岡県消防学校専科教育救助科教育支援（クリビング）	静岡県消防学校
11	10月30日	訓練	日本平動物園合同訓練	日本平動物園
12	11月14日	訓練	秋季全国火災予防運動に伴う合同訓練（済生会）	静岡済生会総合病院
13	12月1日	訓練	高度救助研修	牧之原消防署
14	12月18日	訓練	局長監査訓練	駿河消防署
15	3月4日	訓練	静岡新聞社・静岡放送合同訓練	静岡新聞社敷地内
16	3月11日	訓練	ＩＲＴ総合訓練	市営折戸団地
17	3月13日	訓練	都市型捜索救助訓練	市営折戸団地

国際消防救助隊

国際緊急援助隊の派遣に関する法律に基づき、海外の地域において大規模な災害が発生し、被災国の要請を受け消防庁長官の出動決定がなされた場合に、海外へ派遣出動する体制を確保しています。

登録隊員配置状況

（令和６年４月１日現在）

所　属	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	計
葵消防署						
駿河消防署		1	2	4		7
千代田消防署						
清水消防署		1	1			2
港北消防署						
島田消防署			1			1
吉田消防署						
牧之原消防署		1				1
計		3	4	4		11

訓練等活動実績

（令和５年度）

月　日	活　動　内　容	場　所	派遣人員
４月17日、６月16、17日、８月28日、29日、９月13日、28日、10月11日、14日、２月29日、３月11、12日	第１回～第６回静岡市消防局国際消防救助隊員研修会	駿河消防署、牧之原消防署、清水区折戸団地	219
6月19、20日 10月18、19日 12月20、21日 ３月４、５日	第１回～第４回東海地区国際消防救助隊連携訓練	名古屋市消防局　消防学校防災訓練場	12
10月19～20日	令和５年度国際消防救助隊員研修【Ⅳ期】	大阪市消防局高度専門教育訓練センターほか	3
１月23～25日	令和５年度国際消防救助隊連携訓練（広島市会場）	広島市消防局西風新都訓練場	1
２月19～21日	令和５年度国際消防救助隊セミナー	全国市町村国際文化研修センター	1

消　防　航　空　隊

令和５年６月　崩土により道路が寸断された住宅からの救助要請。
要救助者を救急隊へ引継ぐ消防ヘリコプター「カワセミ」

航空消防業務体制

静岡市は、ユネスコエコパークにも登録されている 3,000m 級の山々が連なる南アルプスから駿河湾までの広大な市域を有しており、ヘリコプターの高速性及び機動性を活かし、山林火災における空中消火、山岳遭難者の捜索や救助、遠距離救急搬送、海や河川等における水難事故に効果的に対応しています。その他にも、ヘリコプターテレビ電送システム等を活用し、災害初期からの情報収集の強化が図られ、社会情勢の変化とともに複雑多様化、大規模化する各種災害に迅速に対応しています。

また、相互応援協定及び緊急消防援助隊により、近隣市町をはじめ全国規模の災害応援にも対応しています。

隊員配置状況

（令和６年４月１日現在）

所属＼階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	合　計
警防課 航空隊	３人	６人	３人	12人
	航空隊長　1 航空副隊長　1 （整備士） 操縦士　1	航空隊員　2 操縦士　3 整備士　1	航空隊員　2 整備士　1	航空隊長　1 航空副隊長　1 航空隊員　4 操縦士　4 整備士　2

消防ヘリコプターの諸元及び主要装備

性能・諸元		主要装備	
型式	ベル式412EP型	ホイスト装置	吊り下げ能力　272kg ケーブル長　76m
愛称	カワセミ		
登録番号	JA119P	ラペリング装置	４名同時降下可能
エンジン型式	PT6T－3D型 （軸出力900馬力×2）	消火タンク	1,420ℓ（自給可能式）
		消火バケット	1,000ℓ（容量調整機能付）
全長（主回転翼含む）	17.1m	カーゴスリング装置	2,041kg
全幅（主回転翼含む）	14.0m	担架装置	３台搭載可能
全高	4.6m	ストレッチャー装置	１台搭載可能
座席数	15座席	機外拡声装置	700W
全備重量	5,398kg	サーチライト	3,000万カンデラ
最大巡航速度	226km/h	可視・赤外線カメラ	
最大航続距離	656km	全方位カメラ	
最大航続時間	３時間50分	ヘリコプターテレビ電送システム	
最大運用高度	6,096m	ヘリコプター動態管理システム	
燃料タンク	1,251ℓ	衛星電話	

消防航空隊活動状況

（令和５年１月１日～令和５年 12 月 31 日）

区分	項目		運航件数（件）		運航時間（時間）	救助・搬送人員（人）
災害出動	火災出動		2	静岡市 島田市 牧之原市 1 吉田町 川根本町 1	1:13	
	救急出動		8	静岡市 5 島田市 1 牧之原市 吉田町 川根本町 2	3:51	9
	救助出動		13	静岡市 8 島田市 1 牧之原市 吉田町 川根本町 4	12:01	9
	その他	管内	2	静岡市 2 島田市 牧之原市 吉田町 川根本町	0:45	
	応援出動（管外）	火災出動				
		救急出動	1	森町 1	0:27	1
		救助出動	5	裾野市１浜松市２ 森町１富士宮市１	4:11	2
		その他				
災害出動合計			31		22:28	
通常業務	応援業務	訓練				
		その他				
	運航管理業務	自隊訓練	45		61:40	
		試験・検査	2		2:05	
		その他	3		2:40	
	消防業務	調査・撮影	2		2:10	
		訓練	9		7:45	
		その他				
	行政運航		1		1:20	
通常業務合計			62		77:40	
総計			93		100:08	

※　火災出動：火災現場における消火活動、情報収集活動等
　　救急出動：傷病者、医師及び医薬品等の救急搬送
　　救助出動：人命救助を目的とした救助活動、捜索活動
　　そ の 他：上記災害出動以外の出動及び応援出動
　　応援出動：緊急消防援助隊または応援協定等により管外へ出動した件数

※　運航件数については、救助出動において要救助者を救助しヘリコプター内へ収容した後、医療機関等へ搬送することにより、１つの事案に対し救助出動と救急出動の２つの災害出動が計上される。

運航件数割合

年別災害出動件数

（件）

災害種別	火災出動	救急出動	救助出動	その他出動（うち応援出動）	合計
令和元年	6	15	15	13(10)	49
令和２年	9	9	11	20(18)	49
令和３年	8	17	14	1（0）	40
令和４年	8	36	27	13(12)	84
令和５年	2 静岡市 島田市 牧之原市 1 吉田町 川根本町 1	8 静岡市 5 島田市 1 牧之原市 吉田町 川根本町 2	13 静岡市 8 島田市 1 牧之原市 吉田町 川根本町 4	8 （6） 静岡市2 島田市 牧之原市 吉田町 川根本町	31

※　応援出動は、静岡県消防防災航空隊が運航不能時に静岡県航空消防相互応援協定により管轄区域外へ出動した件数です。

整備関係業務

ヘリコプターの安全運航の維持に万全を期するため、日常点検、定時点検等の点検整備を行っており、また、航空局発行の耐空性改善通報（TCD）による検査、整備、改造等の指示に従い、特別整備等も実施しています。

令和５年度中の長期点検整備実績

内　容	期　間	日　数
６か月点検	令和５年７月 10 日～令和５年７月 23 日	14 日
年次点検（耐空検査）	令和５年 10 月２日～令和６年２月 28 日	150 日
合　計		164 日

管内離着陸場等

（令和６年４月１日現在）

		場外離着陸場	緊急離着陸場	レスキューポイント
静岡市	葵区	14	44	60
	駿河区	1	9	12
	清水区	3	25	16
島田市		1	20	36
牧之原市		1	21	18
吉田町		1	4	20
川根本町		2	23	13
合計		23	146	175

※　場外離着陸場

飛行場以外の臨時のヘリコプター離着陸場で、必要な空域と周囲の安全が確保されると認められる場合に、運航者の事前の申請に基づき国土交通大臣が許可する場所。

※　緊急離着陸場

航空法第 81 条の２（捜索又は救助のための特例）が適用され、災害活動等、緊急時のみに離着陸できる場所。

※　レスキューポイント

場外離着陸場及び緊急離着陸場のない中山間地等において、ホバリングによる救助、人員搬送、物資搬送等を目的とした緊急救助用スペース。

静岡市及び２市２町の消防水利状況

（令和６年４月１日現在）

			静岡市	島田市	牧之原市	吉田町	川根本町
消火栓	総数		12,233	1,122	800	519	
	公設		12,077	1,122	800	519	
	私設		156				
防火用水槽（40㎥以上）※飲用水兼用耐震性貯水槽を含む	総数		1,520	384	350	24	236
	公設	耐震性	843	260	178	16	138
		非耐震性	504	116	167	3	98
	私設	耐震性	35	5	3	1	
		非耐震性	138	3	2	4	
防火用井戸	総数		857		2	39	
	公設	耐震性	335				
		非耐震性	496		2	39	
	私設	耐震性					
		非耐震性	26				
プール	総数		244	34	17	5	10
	官有		234	32	16	5	10
	民有		10	2	1		

地震対策用消防水利施設整備状況（静岡市）

整備登録	計	耐震性貯水槽			飲料水兼用耐震性貯水槽		さく井式防火用井戸
		100㎥型	60㎥型	40㎥型	100㎥型	60㎥型	
昭和51年	5	1		4			
昭和52年	98	41		57			30
昭和53年	72	34		38			33
昭和54年	67	22		45			17
昭和55年	36	7		29			19
昭和56年	28	8		20			18
昭和57年	27	6		21			19
昭和58年	22	3	3	15	1		21
昭和59年	19		5	14			22
昭和60年	16		6	8	2		11
昭和61年	9		4	5			13
昭和62年	13	1	4	8			13
昭和63年	28		3	24	1		11
平成元年	27		5	22			12
平成２年	17		3	14			13
平成３年	24			21	3		11
平成４年	18		4	13	1		8
平成５年	22		2	18	2		10
平成６年	13	1		11		1	6
平成７年	14		1	12	1		3
平成８年	17	1		10	5	1	1
平成９年	19	1		12	6		3
平成10年	14	1		9	3	1	5
平成11年	10	1		8	1		4
平成12年	8	1	1	5	1		4
平成13年	10	2		7	1		
平成14年	9	2		6	1		8
平成15年	10	2		7	1		1
平成16年	14	1	1	12			4
平成17年	3			3			2
平成18年	3			3			
平成19年	12			11	1		1
平成20年	7	1		5	1		
平成21年	5	1		4			1
平成22年	4			4			1
平成23年	3			3			2
平成24年	4			4			3
平成25年	9			9			2
平成26年	30	8		22			1
平成27年	15			15			1
平成28年	3			3			1
平成29年	7			7			
平成30年	4	2		2			
令和元年	1			1			
令和２年	1	1					
令和３年							
令和４年		1					
令和５年		1			8		
不明	36	3	1	32			
総数	843	154	43	603	40	3	335